

令和8年5月27日

読谷村議会
議長 上地 利枝子 殿

読谷村議会議員
岸本 大二郎 印

一般質問通告書

第553回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 読谷村内不法投棄における現状と課題について</p> <p>(1) 本村における不法投棄の発生状況と、処理に伴う財政的負担について 直近数年間における村内の不法投棄の発生件数と、村の直営対応や民間委託を含めた処理費用の推移はどのようなになっているか問う。</p> <p>(2) 現場対応における実務上の課題と、悪質なケースへの対応について 現在、現場で対応にあたる中で、投棄者の特定や、家電・事業系廃棄物などの悪質なケースの処理において、どのような点が最大の課題となっているか問う。</p> <p>(3) 不法投棄パトロールの実施提案と、デジタル技術や民間・地域連携を活用した新たな防止策の展望について 不法投棄の未然防止と早期発見のため、村による定期的な不法投棄パトロールの新たな実施を提案する。あわせて、限られた人員でのパトロールを補完し最大の効果を上げるため、他自治体でも成果を上げているAI監視カメラの導入や、村民がスマートフォンから簡単に現場を報告できるデジタル通報システムの構築など、DXや民間連携を活用したスマートな環境対策について、執行部の見解と今後の展望を問う。</p>	
<p>2 読谷村青年団協議会への持続可能な支援と連携について</p> <p>(1) ふるさと納税や寄付金を活用した青年会活動・エイサー祭りへの支援拡充の進捗についてふるさと寄付金の原資を活用した補助ができるよう内部で検討していくとの答弁をいただいたが、毎年エイサー祭りを控える中、その後の具体的な財源運用の検討状況や、支援拡充に向けた進捗について問う。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>(2) 村公式ホームページと青年会 SNS の連携の実施状況について 前回、村公式ホームページから青年会の SNS へのリンク連携について、バナー設置等に向けて調整を進めたいとの答弁をいただいたが、現在の調整状況と公開の目処について問う。</p> <p>(3) 若者の声を村政に反映させる青年参画のプラットフォームの構築について 青年団協議会と行政が定期的に意見交換を行える青年参画のプラットフォームを今後創設し、若者の声を直接村政に活かしていくべきと考えるが見解を問う。</p> <p>(4) エイサー祭りにおける協賛企業への来賓席案内と連携強化について 毎年のエイサー祭りは多くの地元企業からの協賛により成り立っている現状がある。祭りの持続可能な運営に向けて、多大な支援をいただいている協賛企業に対し、感謝の意を込めて来賓席への呼びかけを行うなど、行政としても青年会と企業との良好な関係構築を後押ししていく必要があるのではないかと考えるが、村の見解を問う。</p>	
<p>3 第 17 回村民との意見交換会及び議会報告会からの政策提起沖縄西海岸道路である読谷道路の早期開通について</p> <p>(1) 村民からの嘉手納間を待たない早期部分開通の切実な声と村の受け止めについて 先日の意見交換会において、村民から沖縄西海岸道路、読谷道路について、嘉手納区間の整備完了を待つことなく、通称赤橋と呼ばれる比謝川大橋から国道 58 号線喜名間の開通に向け早急な対応をしてほしいとの切実な政策提起があった。この声に対する執行部の受け止めと、当該区間の現在の整備進捗状況について問う。</p> <p>(2) 当該区間の早期開通がもたらす村内交通の渋滞緩和と経済波及効果について 仮に嘉手納間を待たずに、比謝川大橋から喜名までの区間が先行して開通した場合、本村の交通渋滞の緩和や経済活動に対して、どのような経済的波及効果をもたらすと分析しているか問う。</p> <p>(3) 伊波村長を先頭とした国・県や関係機関への要請活動と議会との連携強化について 今後の具体的な国や県など関係機関への要請活動の戦略について問うとともに、伊波村長を先頭に、我々議会も一丸となって継続して国・県へ働きかけていくべきと考えるが、伊波村長の今後の方針を問う。</p>	